

## ●研究テーマ

## タネの観察と成長

## 動機

野菜や果物に入っている種を見ていたら、たくさんの種が規則正しく並んでいることに気付いた。その数と、中の種からもまた実ができるかどうかを調べてみようと思った。

## 内容

野菜や果物から種を取り出し、種の大きさや形状を観察し、数を数える。

発芽することを前提として、ひとつの実にたくさん種が入っている場合は、休眠の有無や休眠期間の長さ、種の一部を切り落としたものを用意するなど、植える時の状態に差をつけて違いが出るかを調べた。

発芽してからは、子葉の特徴を調べ、それぞれどのように成長していくかを観察した。成長に応じて、卵パックから鉢へと容器を変え、カボチャやポップコーンなど鉢に収まらないものは庭に地植えして観察を続けた。アボカドは、水耕栽培と土に植える場合とで違いが出るかを観察した。

成長が進んだものに関しては、最終目標としていた「取り出した種からも実ができるのか」を調べた。実ができる前の花の付き方や色、大きさを観察した。実を収穫し、最初の実と形状や味の違いがあるかを調べ、中の種の様子を観察した。

## まとめや感想

採取した種を植えるだけでは発芽しないと思っていたけれど、高確率で発芽し、成長を観察することができた。また、種類や季節によって、発芽までの期間や成長のスピードが違うことも分かった。土の中から小さな芽が出ているのを見つけたときの感動は忘れられない。

季節がめぐって、また花が咲いて実ができるのか、引き続き観察していきたい。また、土の種類や水の量、育てる環境など、もっといろんな条件を作って発芽までの様子を観察する方法や、1つの種類に絞って深く調べていく方法にも挑戦したいと思った。

